



ひよこ組

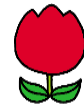
【9月の保育のねらい】

- ・安心できる保育者に見守られながら一定時間眠る。
- ・保育者の仲立ちのもと、友だちと一緒に過ごす楽しさを味わ

<お水バシャバシャ気持ちいいね>

7月8月と毎日暑い日が続いていましたね。夏と言えば、水遊び！です。でも、熱中症指数が基準を超えてしまう日が多く、テラスでの水遊びの機会は少なかったですがシャワーや沐浴を行い、汗を流してサッパリと心地よく過ごしました。

水遊びができる日は、保育者がテラスで準備をしていると「待ちきれない！」と言った様子で柵の近くにやってきて指差しをしたり、声を出してアピールする子どもたちです。お座りが出来る子は、身体を洗ってから一人ずつタライに入ります。水遊びを始めた最初の頃は、水の冷たさや感触に不思議そうな表情をしていたり、タライの中に入ると泣いてしまう子もいましたが、今ではすっかり慣れてバシャバシャと勢いよく水面を叩いて水しぶきをあげたり、水遊び用のカップで水をすくってはこぼしてを繰り返し、嬉しそうに遊んでいます。お座りがもう少しの子は沐浴を楽しんでいます。浴槽に浮かんでいるおもちゃに手を伸ばしたり、顔や身体を洗ってもらおうと気持ちよさそうな笑顔を見せてくれます。



ちゅうりっぷ組

【9月の保育のねらい】

- ・生活習慣を再確認し、自分のことをじぶんでやろうとする。
- ・自分なりのイメージを持ち、表現遊びを楽しむ。

<友だちだいすき>

プールや絵の具、色水遊びなど、夏の楽しい活動で友だちと楽しさをたくさん共有してきたちゅうりっぷ組。とにかく友だちと一緒に遊ぶのが楽しい！という様子が子どもたちの表情や姿から見られます。「○○ちゃん、いっしょにあそぼう」「○○しよう」とこども同士誘い合う姿が増えました。時にはそれぞれの思いがぶつかってしまう時もありますが、やっぱりお友だちが大好きで一緒にくっついて遊んでいます。場面によっては、思い通りにならない経験も味わいながら、相手の気持ちに少しずつ気づき葛藤を経験している姿を、私たち大人も温かい目で見守っていきたいと思います。

最近、『神経衰弱』のような簡単なルールのある遊びも順番を守って楽しめるようになってきました。子どもたち自身でルールを話しながら遊ぶ姿がとても可愛らしいちゅうりっぷ組です。

10月には運動会があり、ちゅうりっぷ組にとっては初めての大きな行事です。緊張の姿も予測されますが、大好きなお友だちと一緒にだから安心、楽しいと思えるような活動をたくさんしていきたいと思っています。



りす組



月号 クラスだより



【9月の保育のねらい】

- ・保育者や友だちと「まてまて」「よーい、ドン」と走るなど身体を動かして遊ぶ
- ・保育者や友だちがやっていることを真似して、自分でやってみようとする。

<肋木(ろくぼく)楽しいね>

7、8月暑い日が続く、水遊びがなかなかできず…でしたが、部屋の中でも楽しく身体を動かす遊びをしていきました。肋木(ろくぼく)は大人気!上の板を取ると「ぶら～ん、ぶら～ん」とぶら下がります。足を浮かせて腕の力だけでぶら下がる子もいて、びっくりです。「いないいないばあ!」と顔を出す子もいます。中の様子は丸見えですが、こどもにとっては“ひっそりトンネルの中”のようです。わざと「うわ～びっくりした!」と言うとゲラゲラと笑ってくれます。肋木を立てて登れるようにすると、一段いちだん慎重に登っていきます。「見てみて～」と嬉しそうな姿や「お～い!」と保育者や友だちに言っている姿があります。“やってみようかな”と少し足をかけている時には「ここを持つよ、足はこっちな」などと伝えるようにして、「ここまで登れたね!」と一緒に喜んでいきます。板をかけて滑り台を作ると“待っていました”というようにさらに盛り上がります。座って滑る、後ろ向きで滑る、頭から滑るなど色々な滑り方を楽しんでいます。今までは怖いと思っていた子も友だちが楽しそうに遊んでいると、やってみようとする姿がでてきました。運動会に向けて、たくさん身体を動かして遊ぶことを楽しんでいきたいと思っています。



さくら組

【9月の保育のねらい】

- ・虫や植物に興味をもつ中で、秋の訪れを感じる。
- ・友だちと一緒にイメージを膨らませながら、運動遊びを楽しむ。

<夏野菜>

先日キュウリの片付けを行い、今年度の夏野菜栽培を終えた さくら組。協力してお世話をし、たくさん収穫することができました。日々野菜の世話をする中で、興味関心の高まりが大いに感じられました。

例えば…

- ・野菜を食べることは苦手でも、生長を観察し育てることを楽しんでいる姿
- ・毎日「水やりしなきゃ!」と大きな声で知らせてくれて、クラスを引っ張ってくれる姿
- ・葉に穴が空いていく原因(虫の被害)を知り、「また来てる!」と退治しようとする姿…などなど、一つ一つのことに一生懸命にかかわっている姿が印象的です。

収穫した後は、植え付け前にみんなで出し合った「こうやって食べたい!」という方法をたくさん試したり、クッキングの材料にしたりして味わいました。野菜が苦手な子も、野菜の断面を見たり、匂いを嗅いだりして興味をもつ姿がみられていましたよ。

育てて食べるだけでなく、種や根にも興味をもち、おやつの果物からとった種を育ててみたり、枯れた野菜を片付ける際は「根っこ見てみたい!」と丁寧に土を掘り起こしたり…様々な角度から、植物への関心を深めていました。

これから秋へと季節が移りかわる中で、この夏に育んだ探求心がどんな風に発揮されていくのか…。今後も楽しみです。



うさぎ組

【9月の保育のねらい】

- ・指先を使った表現活動を楽しむ。(のり・はさみ・粘土など)
- ・運動遊びを通して、身体の動かし方を知る。(戸外・巧技台・リズム遊び・わらべうたなど)

<楽しい水あそび>

7月から始まった水遊び。熱中症指数が高く中止となることもありましたが、こどもたちは友だちや保育者と一緒に水に触れて楽しんでいます。中でも人気なのが色水遊びです。保育者が絵の具やタライを準備し始める様子をテラス入り口の柵越しに見て“もうすぐはじまるかな”と期待して待っています。タライからすくった色水をカップに移してジュースを作りお友だちと乾杯したり、ジュース屋さんになって保育者に振る舞ってくれています。複数の色を混ぜると色が変わることに気づいた子もいて「いろがかわった!」と色の変化を楽しめるようになってきました。シャワーを浴びる前には噴水マットから中央に放射状に出てくる水の中に入りしたり、みんなで腹ばいになってバタ足をして盛り上がっています。まだ暑い日が続くようですが、友だちと一緒に水の感触を楽しみ、シャワーで汗を流してさっぱりして暑い時期を元気に乗り切っていきたいと思っています。



もみ組

【9月の保育のねらい】

- ・運動会に向けて、太鼓や縄跳びの練習に取り組む。
- ・季節の移り変わりに気づき、自然や生き物への興味関心を深める。

<縄跳び>

「運動会で縄跳びをやりたい」ということになり、縄跳びの練習を始めました。はじめは「跳べないからやらない」と言っていた子もいましたが、やる気満々で跳んでいる友だちを見て「やっぱりやってみようかな」と挑戦する姿がありました。練習しはじめは、1回ずつ跳んでいる子も多かったのですが、練習を重ねていくうちに、連続で跳べるようになってきました。色々な跳び方に挑戦したり、連続で跳べる回数も記録が日々更新されています。保育園での練習だけでなくお家でも練習している子もいるようです。

最近では友だち同士で「前よりうまくなっているじゃん」「30まで跳べてすごいね」などと、良いところを伝え合う姿が出てきました。友だちの良いところや頑張りを言葉にして伝えられることは、とても素敵なことですね。

運動会まで頑張っ練習して、跳べている姿を見てもらおうとしているこどもたち。本番を楽しみにしててください。

